

07

繊維工業

菅野繊維 株式会社

〒964-0917 福島県二本松市本町1丁目188

manufacturing industry

リリアンノップ糸でシルクニット市場へ参入

軽さ、薄さ、美しい編地の
新規シルクニットを開発

新規シルクニットを開発し、ヨーロッパ等で行われる展示会にも出展予定(平成28年2月)。独自の糸、編み製法、そして確かな技術で、オリジナリティの高い製品を確立し、ニット業界の更なる発展を後押しします。



取組みのきっかけ

福島メリヤスの復活を目指して

福島県は全国でも有数のシルクの産地です。太平洋戦争後、福島県の県北エリア、主に梁川や保原を中心に「福島メリヤス」として栄えていました。しかし、徐々に海外からの輸入品が市場に出回り、近年では中国から安価な商品が大量に輸入されており、売上も右下がりの状況です。そこで、福島県ニット工業組合を中心としたニット関係企業では、小ロット単サイクルの生産体制をとり、他国にない技術力を生かし、シルクやカシミアといった価値のあるものを提供する「高級志向」へと路線変更するため立ち上がりました。



TEL 0243-23-1234
FAX 0243-23-1235
MAIL kannnoseni@tkcnet.ne.jp
代表者 代表取締役 菅野 京一

事業概要

昭和3年創業。ハイエンドの婦人ニットを中心に、福島県のニットの草分け的な会社として設立しました。主に横編みの成形物を得意とし、風合いを重視した加工物を多く取り扱っています。高級婦人ニットのトップブランド「コムデ・ギャルソン」をはじめ、ワールド、レナウン等多くの有名メーカー製品も弊社で手がけております。福島県のニット産業を盛り上げるため、ニットフェアや展示会等にも力を入れています。



実施内容

新たなニット系「リリアンノップ」

福島県は江戸時代から養蚕業が盛んで、当時から繊維や衣料業が発展していました。このような歴史に加え、高い技術・職人技も産業を盛り上げる要因の一つです。しかし、今後は新素材の研究開発も視野に入れていかなければいけません。そこで弊社では、福島県ハイテクプラザの協力を得て、従来のシルク製品よりもさらに軽くて伸びが良い「リリアンノップ系」の研究に着手しました。

新規ニット系、ファインゲージ用のリリアンノップ系の開発にあたり、もととなる原材料を購入しました。また、ニット用の編糸を福島県ハイテクプラザに委託し、加工。25種

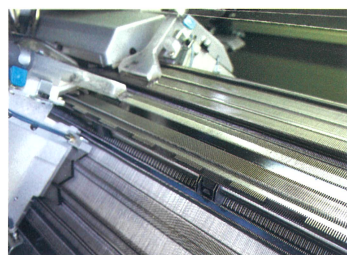
類の試作糸を作製して、その中から編立に適した18種類の試作糸で編立試験を実施。加えて編成の確立（程良い風合い、ムラの有無、ダレ落ち等）、製品化・高付加価値化（デザイン性等）への条件クリアに向け、研究を推めました。



事業の成果

シルク100%製品の付加価値を高める

リリアンノップ糸を使用することで、軽さ、薄さ、そしてシルクニットならではの表情のある編地を再現しました。この素材を使用することで、ダレ落ちの少ない、今までにない高



級感のある作品を完成させることに成功しました。

本事業において試作糸から加工糸に至る製品作りで、リリアンノ

ップ糸として14ゲージ（1.63ミリ）の機械で編立できるのは、非常に大きな成果です。今までシルクはストレートの糸が多かったですが、リリアンノップ糸が加わることで編地にバリエーションの展開が広がりました。また、着ダレの少なさ、ストレッチ性等、シルク100%製品の付加価値は非常に高いものになると期待しています。

試作品作りには成功したので、今後は、より具体的な商品展開を思案していく必要があります。



今後の活動予定

本物志向に目を向けた新たな市場を開拓

今回、福島県ハイテクプラザで試作したシルクノップは、単価が高いため、ごく一部の富裕層にだけアピールできる製品となっています。これまでもヤングカジュアル市場に目を向けていましたが、昨今40～50代の年代に市場は方向転換しつつあります。そのため、今後はアッパーゾーンと呼ばれる人たちをターゲットにしていく必要があります。マーケットとしては小規模ですが、大きな売上を見込んでいます。「価格重視」から「本物」を作り上げていく時代なのです。

本事業で進めている製品は、市場に少なく希少性があ

り、原料・デザインがベストマッチすれば市場価値が格段に向上するはず。現に、試作品を百貨店やアパレル関係にPRしたところ、この編地を使って商品化したいとのオファーがありました。早期実現に向け、今後は原料の量産化・コストダウンを図っていきます。

